

第9回「わかやま環境大賞」受賞者の決定

環境保全に関する実践活動が他の模範となる団体又は個人を表彰し、その活動事例を広く県民の皆様に紹介することにより、県民の環境保全に関する自主的な取り組みを促進することを目的に、平成14年に創設された「わかやま環境大賞」表彰制度。

9回目となる今回は9団体が受賞されました。

1. 第9回「わかやま環境大賞」表彰式

日時：平成22年6月7日（月）13：30から14：00（13:00開場）

場所：和歌山県民文化会館 小ホール（和歌山市小松原通り一丁目1番地）

2. 第9回「わかやま環境大賞」受賞者

（1）『わかやま環境大賞（1団体）』

株式会社串本海中公園センター（串本町）

長年にわたるマリンスクールや自然体験プログラムなどにおいて和歌山県の自然のすばらしさを全国に情報発信するとともに、オニヒトデの駆除で本県の環境保全に寄与されました。

（2）『わかやま環境賞（5団体）』

NPO法人紀州えこなびと（和歌山市）

丸木コンロと小水力発電施設の研究開発により、本県における自然エネルギーの普及啓発と環境保全に寄与されました。

江川中ホタルを守る会（紀の川市）

重谷川のホタルの保護と育成に取り組み、環境美化と自然のすばらしさを伝える活動において、本県の環境保全に寄与されました。

那智川を守る会（那智勝浦町）

那智川の美化清掃活動を行い、小学生が地域の自然に親しむ環境づくりを積極的に推進され、本県の環境保全に寄与されました。

和歌山市立西脇中学校（和歌山市）

磯の浦海岸の美化清掃活動を通して、環境学習の実践と意識の高揚に努めるなど、本県の環境保全に寄与されました。

田辺市立田辺第三小学校（田辺市）

リサイクル運動とシステムの構築を通じて、地域とともに環境保全に対する実践と意識の高揚に努めるなど、本県の環境保全に寄与されました。

（3）『特別賞（1個人2団体）』

大平 喜代（和歌山市）

家庭の生ゴミをたい肥化する活動を地道に推進され、環境づくりの広がりにも努められました。

有限会社クスベ産業（有田川町）

環境保全のための技術と商品開発に取り組み、その普及にも努められました。

株式会社小森組（串本町）

上浦海岸および串本港の海岸清掃活動において、地域の環境美化にも努められました。

（敬称略）